

第69回三島市美術展 入賞者一覧

【日本画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ
市長賞	16	山田 淳子	菊花香る	105×105cm
議長賞	20	杉山 啓子	なかよし	20号
教育長賞	14	山崎 則夫	秋田竿燈まつり	P30号
実行委員長賞	21	杉山 清弘	水のまち三島	F10号
奨励賞	19	草間 賢子	ネギ	F30号

〔審査員講評〕

市長賞の「菊花香る」は実に色彩が豊かで深みを感じます。議長賞の「なかよし」は、ほのぼのとして犬が子供をうかがう眼の仕種、視線がよく伝わり表現されている作品だと思います。教育長賞の「秋田竿燈まつり」は祭りの風景、人物が丁寧に描かれており、雰囲気のある作品に仕上がっています。バックが群青一色ですが、もう少し空気感というか、色の変化があれば面白くなると感じました。実行委員長賞の「水のまち三島」は、小品ながら緑がきれいに収まっている作品となりました。この構図なら大作でも十分見ごたえのある作品になると思います。奨励賞の「ネギ」は全体的に色が統一され、葱坊主もしっかり描かれており、好感のもてる作品となりました。

審査員 大場 茂之、清水 照夫

【洋画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ、技法
市長賞	43	澤野 史朗	清流Ⅱ	F30号 油彩
議長賞	39	安藤 幸子	引力	80号 油彩
教育長賞	42	杉山 記子	南国の花	B1 パステル
実行委員長賞	34	森 久子	階段のあるふるさと	F100号 油彩
奨励賞	38	小野 登志子	夏の思い出	F30号 油彩
奨励賞	46	村田 純子	三島溶岩流	B1 パステル
奨励賞	47	渡邊 弘一	荒天の滝	B3 ペン
奨励賞	50	栗田 隆	茶畑に富士	40.5×55.5cm 木版
奨励賞	51	樋川 弘喜	百歳まであと五歳	8号 ペン
奨励賞	53	関口 通子	卓上のセレナーデ	F6号 油彩

〔審査員講評〕

バラエティに富んだ表現が多く、皆さんがとてものがんばって描いていると感じました。市長賞は谷川を流れる清流の気配がしっかり描かれていて、水の音まで聞こえてきそうです。議長賞は色を抑えているのに作品が暗くならず、見る人にイメージネーションを与える作品でした。教育長賞は強い色を怖れず使い、構成がきめ細やかな配慮のある作品でした。実行委員長賞は古民家のたたずまいが出ていて、遠い時間の音が聞こえそうです。色を使わず線だけで勝負してきた作品なども存在感を發揮し、来年もどんな作品が出品されるのか楽しみです。

審査員 宇城 正紀、塩川 晴美

【総合工芸の部】

賞	目録No.	氏名	題名	技法
市長賞	23	山口 誠二	野鳥のインテリア	紙粘土及び木工
議長賞	3	福澤 素子	四季の花文様振袖	日本刺繍
教育長賞	2	勝俣 孝子	紬織り着尺	染織
実行委員長賞	20	吉田 健一	有彩蓋物ー藍ー	宙吹き硝子
奨励賞	1	杉山 由民子	楽寿の杜で	屏風

〔審査員講評〕

過去に市長賞を受賞された素晴らしい力作に囲まれながら、市長賞に選ばれた作品は、最も素朴な雀たちでした。昨年の中止を経て開催された今回は、私たち一人ひとりの心を癒す優しさに惹かれました。改めて高度な技法で作られた海を思わせる吹きガラス蓋物、色彩豊かな刺繍の振袖、気の遠くなるような熟練の技で織られた紬など見ごたえのある作品が揃いました。

初出品の屏風の大膽な力強さも今回の展示の見どころです。

訪れた市民の皆様が、心を遊ばせられる、自由な総合工芸部門にふさわしい作品が並びました。

審査員 志田 理子、渡辺 憲二

【写真の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	2	中西 博史	アーケード
議長賞	5	片岡 悦夫	鐘桜前の見廻隊長
教育長賞	8	吉田 健一	『ママが帰ってきて、ボクもお兄ちゃんになった』
実行委員長賞	39	山田 辰巳	懐かしの漁景
奨励賞	22	金田 教子	ツインズ
奨励賞	32	杉本 由季	光の縄跳び
奨励賞	35	杉山 吉弘	光と影
奨励賞	37	望月 正誼	幽玄の刻
奨励賞	44	小池 ますみ	友達来ないかな

〔審査員講評〕

市長賞の作品はコロナ禍の今の時代を表現されています。議長賞は気の荒いような猫の表情が良かったです。教育長賞は兄弟の愛情がモノトーンで優しく表現されています。実行委員長賞はタイミングよく逆光の中撮られている様子が良かったです。奨励賞のツインズは母親の愛情が感じられます。光の縄跳びは造形的であり、色のミックスがきれいに表現されています。光と影は静謐な感じをとらえていて好感が持てます。幽玄の刻はしっとりとした桜の姿が落ち着いていました。友達来ないかなは遠くを見つめるりりしい猫の姿がきれいですね。

審査員 銭谷 均

市長賞 今回の時代を表現した作品で作者の思いが十分出ている。町の風景を選んだ作者のカメラアイに好感が持てる。また白黒での表現も良かったのではないかと。議長賞 ネコの表現がとても良くバックにお寺の鐘つき堂もバランスがとても良い。この町に住んでいるネコだろうが、作者のセンスが感じられる。教育長賞 カメラマンのやさしさ、また子供達の表情や愛情表現がとてもよく出ている。実行委員長賞 この作品はベテランであろう。作者の構成もシャッターチャンスも良く出ているが少し表現性が足りない。

審査員 松野 崇

【書道の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	10	三浦 すみれ	我楽多
議長賞	9	眞鍋 翠花	歐陽修詩
教育長賞	11	岡田 周美	奥山に
実行委員長賞	8	麻生 菁勝	とほく来て
奨励賞	16	佐々木 朋子	わが庭の
奨励賞	27	袴田 真理	朱熹詩
奨励賞	32	村上 貴美子	臨書譜

〔審査員講評〕

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、出品数の減少が懸念されたが前回展に近い出品があり、また、今回展の特徴として若年層の応募とジャンルの多様化が目についた。市長賞の三浦氏の「我楽多」は荒削りではあるが、若さ溢れる伸びやかな線質と空間造型に新味があり、現代書からの選出となった。議長賞の眞鍋氏「歐陽修詩」は北魏の造像記の筆法をベースとして、力強い筆致と揺るぎ無い文字構成で作者の実力が窺われる。教育長賞と実行委員長賞は出品の多かった仮名のジャンルから選考した。岡田氏は伸びやかで張りのある線が魅力的で、和歌一首を貫通して書き切る力は見事である。一方麻生氏の作は筆鋒を生かした優れた技術で多彩な線質を表現している。

出品者の皆さんには、古典の臨書を通じた技法の確立と共に感性の醸成や書に関する知識の習得を意識され、次回展では今回展を越える快作をご出品くださるよう期待する次第である。

審査員 池谷 天外、鈴木 玉翠